

06 知識・技能を身に付ける

取組事例
24

こどもちゃれんじ教室

伊賀市教育委員会 小学生とその保護者



クイズで樹木について学んでいる様子

実施時期	令和5年10月
実施場所	伊賀市焼尾国有林 遊々の森 「生き生き学びの森」
時間	2時間
対象・人数	小学生7人とその保護者
講師	三重森林管理署 職員
備考	伊賀市教育委員会事業「こども ちゃれんじ教室」

めざす姿	06 知識・技能を身に付ける (01 遊び・楽しむ、 02 親しむ、 03 興味・関心を持つ、 04 違いに気づく、 08 地域の課題に目を向ける)
ねらい	木に興味・関心をもち、森林のはたらきや木材の利用について考える
内容	・ 樹木の名前当てクイズや樹木の葉の観察を通して、樹木に興味・関心をもち、違いに気づく ・ 薪投げゲーム「クップ」を楽しみ、木にふれ、親しみをもち ・ 「うんこドリル 森と暮らし」の問いから、森林のはたらきや木材の利用について考える
学習指導要領との関連	森林資源と木材生産（小学5年生社会科） 面白さ・不思議さ・観察（小学1～2年生生活）、楽しむ（小学1～4年生道徳）、身の回りの生物・植物の体のつくり（根・茎・葉）（小学3年生理科）、森林資源のはたらき・森林と人々の暮らし（小学5年生社会科）、地域の自然環境と人々の暮らし（小学生総合的な学習の時間）



薪投げゲーム「クップ」を楽しんでいる様子



「うんこドリル 森と暮らし」を使って
森のはたらきを学んでいる様子

子どもの反応	・ 楽しかった。学校でもクップをやりたいです。 ・ 家でも森林について勉強したいと思いました。
主催者のコメント	・ ゲームを体験している児童は非常に楽しそうな様子で、森林を身近に感じ、その大切さも理解してもらえたと思います。